

厚生労働大臣 殿

管理者名 防衛医科大学校病院長

望月英

### 防衛医科大学校病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

#### 記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績
- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	222人	43人	228.4人	看護業務補助	36人	診療エックス線技師	人
歯科医師	8人	4人	8.6人	理学療法士	3人	臨床検査技師	39人
薬剤師	21人	人	19.0人	作業療法士	2人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	3人	その他の	人
助産師	16人	人	16.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	375人	15人	381.7人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	人	1人	0.4人	栄養士	人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	35人
管理栄養士	5人	人	5.0人	診療放射線技師	22人	その他の職員	12人

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	534.4人	11.6人	546.0人
1日当たり平均外来患者数	1,325.9人	42.8人	1,368.7人
1日当たり平均調剤数			697.4剤

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31鱗一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	45人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	21 人	・モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	15 人
・多発性硬化症	26 人	・ウェグナー肉芽腫症	1 人
・重症筋無力症	41 人	・特発性拡張型 (うつ血型) 心筋症	10 人
・全身性エリテマトーデス	83 人	・多系統萎縮症	10 人
・スモン		・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	
・再生不良性貧血	16 人	・臍疱性乾癬	2 人
・サルコイドーシス	31 人	・広範脊柱管狭窄症	1 人
・筋萎縮性側索硬化症	9 人	・原発性胆汁性肝硬変	19 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	54 人	・重症急性胰炎	8 人
・特発性血小板減少性紫斑病	33 人	・特発性大腿骨頭壞死症	14 人
・結節性動脈周囲炎	18 人	・混合性結合組織病	8 人
・潰瘍性大腸炎	62 人	・原発性免疫不全症候群	4 人
・大動脈炎症候群	7 人	・特発性間質性肺炎	5 人
・ピュルガ一病	3 人	・網膜色素変性症	8 人
・天疱瘡	3 人	・ブリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	19 人	・原発性肺高血圧症	1 人
・クローン病	32 人	・神経纖維腫症	2 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2 人	・亜急性硬化性全脳炎	
・悪性関節リウマチ	6 人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	
・パーキンソン病	64 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症 (肺高血圧型)	
・アミロイドーシス	3 人	・ライソーム病 (ファブリー「Fabry」病含む)	
・後縦靭帯骨化症	13 人	・副腎白質ジストロフィー	
・ハンチントン病			

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に4回程度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 41例	剖検率 13.5%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

(単位:千円)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ナノキャリアーと物理エネルギーを融合したハイブリッド標的化診断・治療の研究開発	守本 祐司	分子生体制御学	9,471	補委 特別研究費
トランスポーターの機能・局在解析と中枢神経疾患の分子標的治療への応用に関する研究	小林 靖	解剖学	8,366	補委 特別研究費
出血性ショックの迅速診断及び治療	高瀬 凡平	防衛医学研究センター	10,425	補委 特別研究費
腫瘍における小胞体ストレス応答の解明と診断・治療の研究開発	仲西 邦昭	臨床検査医学	11,636	補委 特別研究費
涙腺機能の再建に関する研究	伊藤 正孝	再生発生学	10,654	補委 特別研究費
神経再生～細胞膜”脂質ラフト”的役割の解明と逆行性神経情報伝達を利用した治療応用～	鎌倉 恵子	内科学第三	11,772	補委 特別研究費
DNA切断・修復機能異常による疾患の責任遺伝子同定と機能解析及び診断・治療への応用	野々山 恵章	小児科学	11,556	補委 特別研究費
フォトニック分子治療学に基づく重傷外傷の新規治療戦略の検討	佐藤 俊一	防衛医学研究センター	11,999	補委 特別研究費
Neurovascular microunit機構の解明とこれに基づく分子生体制御に関する研究	西田 育弘	生理学	13,081	補委 特別研究費
合計			98,960	

計 9

(注) 特別研究費とは、学術振興に寄与するため優れた学術研究を格段に発展させることを目的として設定されている。文部科学省の科学研究費に相当するものである。

### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別添のとおり			

計205

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis 196(1): p.425-433, 2008.01	Effect of bezafibrate therapy on atherosclerotic aortic plaques detected by magnetic resonance imaging in hypertriglyceridemic patients.	Ayaori Makoto, Momiyama Yukihiko, Fayad ZA, Yonemura Atsushi, Ohmori Reiko, Kihara Teruyoshi, Tanaka Nobukiyo, Nakaya Kazuhiro, Ogura Masatsune, Sawada Shojiro, Taniguchi Hiroaki, Kusuhsara Masatoshi, Nagata Masayoshi, Nakamura Haruo, Ohsuzu Fumitaka.	内科1
Journal of Cardiovascular Magnetic Resonance 9: p.855-861, 2007.09	Magnetic Resonance Evaluation of the Associations of Thoracic and Abdominal Aortic Plaques with the Presence and Extent of Coronary Artery Stenosis.	Ashida Kazuhiro, Momiyama Yukihiko, Zahi A.Fayad, Tanaka Nobukiyo, Kato Ryuichi, Taniguchi Hiroaki, Ohmori Reiko, Kihara Teruyoshi, Kameyama Akira, Nagata Masayoshi, Nakamura Haruo, Ohsuzu Fumitaka.	内科1
Angiology 58(4): p.463-471, 2007.08	Systemic peripheral vascular resistance as a determinant of functional cardiac reserve in response to exercise in patients with heart disease.	Akima Takashi, Takase Bonpei, Kosuda Shigeru, Ohsuzu Fumitaka, Kawai Toshiaki, Ishihara Masayuki, Kurita Akira.	内科1
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 14(3): p.133-141, 2007.06	Telmisartan Enhances Cholesterol Efflux from THP-1 Macrophages by Activating PPARgamma.	Nakaya Kazuhiro, Ayaori Makoto, Hisada Tetsuya, Sawada Shojiro, Tanaka Nobukiyo, Iwamoto Noriyuki, Ogura Masatsune, Yakushiji Emi, Kusuhsara Masatoshi, Nakamura Haruo, Ohsuzu Fumitaka.	内科1
Modern Rheumatology 17(2): p.131-136, 2007.04	Intermittent intravenous cyclophosphamide pulse therapy for the treatment of active interstitial lung disease associated with collagen vascular diseases.	Okada Makoto, Suzuki Kimihiro, Matsumoto Mitsuyo, Nakashima Masahiro, Nakanishi Takashi, Takada Kunio, Horikoshi Hideyuki, Matsubara Osamu, Ohsuzu Fumitaka.	内科1
Modern Rheumatology 17(6): p.486-491, 2007.12	Primary biliary cirrhosis in female subjects with sicca-associated antibodies.	Takada Kunio, Suzuki Kimihiro, Matsumoto Mitsuyo, Okada Makoto, Nakanishi Takashi, Horikoshi Hideyuki, Higuchi Tomoaki.	内科1
J Echocardiography 5(2): p.58-60, 2007.09	Large Right Coronary Artery to Left Ventricle Fistula.	Tanaka Nobukiyo, Isoda Kikuo, Hara Motoki, Hayashi Katsumi, Miyazaki Koji, Kimura Kazuo, Arakawa Koh, Kusuhsara Masatoshi, Ohsuzu Fumitaka.	内科1
Atherosclerosis 192(2): p.298-304, 2007.06	AGE-BSA decreases ABCG1 expression and reduces macrophage cholesterol efflux to HDL.	Isoda Kikuo, Eduardo J.Folco, Shimizu Koichi, Peter Libby.	内科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Gastroenterology	Expression of PD-1, PD-L1, and PD-L2 in the liver in autoimmune liver diseases.	Norikazu Mataki et al	内科2
Nephrology Dialysis Transplantation	Significance of glomerular cell apoptosis in the resolution of acute post-streptococcal glomerulonephritis.	Takashi Oda et al.	内科2
Journal of Endocrinology	A Rho-kinase inhibitor, fasudil, prevents development of diabetes and nephropathy in insulin-resistant diabetic rats.	Yuichi Kikuchi et al.	内科2
Microcirculation	Effects of intratumoral injection of CCL2 on monocyte-endothelial cell interactions in mouse pancreatic cancer.	Keisuke Okudaira et al.	内科2
Nephrology Dialysis Transplantation	Effect of risedronate on high-dose corticosteroid-induced bone loss in patients with glomerular disease.	Yuichi Kikuchi et al.	内科2
Hypertension Research	Effects of renin-angiotensin system blockade on macrophage infiltration in patients with hypertensive nephrosclerosis.	Toshihiko Imakiire et al.	内科2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Hematology 87(1): p.83-87, 2008.02	Histiocytic sarcoma of the spleen: case report of asymptomatic onset of thrombocytopenia and complex imaging features.	Kobayashi Shinichi, Kimura Fumihiko, Hama Yukihiko, Ogura Kazuto, Torikai Hiroki, Kobayashi Ayako, Ikeda Takashi, Sato Ken, Aida Shinsuke, Kosuda Shigeru, Motoyoshi Kazuo.	内科3
Leukemia and Lymphoma 49(2): p.342-345, 2008.02	Transformation of myelodysplastic syndrome into myeloid/natural killer cell precursor acuteleukemia involving mainly lymph nodes.	Kobayashi Shinichi, Sato Ken, Torikai Hiroki, Ogura Kazuto, Kobayashi Ayako, Sakaba Kouji, Ikeda Takashi, Kimura Fumihiko, Motoyoshi Kazuo.	内科3
Blood 111(1): p.243-250, 2008.01	Interaction between Hck and HIV-1 Nef negatively regulates cell surface expression of M-CSF receptor.	Masateru Hiyoshi, Shinya Suzu, Yuka Yoshidome, Ranya Hassan, Hideki Harada, Naomi Sakashita, Hiroyuki Akari, Kazuo Motoyoshi, Seiji Okada.	内科3
American Journal of Pathology 171(3): p.755-766, 2007.09	Bone marrow-derived CXCR4+ cells mobilized by macrophage colony-stimulation factor participate in the reduction of infarct area and improvement of cardiac remodeling after myocardial infarction in mice.	Hajime Morimoto, Masafumi Takahashi, Yuji Shiba, Atsushi Izawa, Hirohiko Ise, Minoru Hongo, Kiyohiko Hatake, Kazuo Motoyoshi, Uichi Ikeda.	内科3
Journal of Cellular Physiology 212(2): p.519-525, 2007.08	M-CSF-mediated macrophage differentiation but not proliferation is correlated with increased and prolonged ERK activation.	Shinya Suzu, Masateru Hiyoshi, Yuka Yoshidome, Hideki Harada, Motohiro Takeya, Fumihiko Kimura, Kazuo Motoyoshi, Seiji Okada.	内科3
J Neurol Neurosurg Psychiatry.: (EPub 2008.03), 2008.03	Ganglioside complexes containing GQ1b as targets in Miller Fisher and Guillain-Barre syndromes.	Mami Kanzaki, Kenichi Kaida, Masami Ueda, Daiji Morita, Minako Hirakawa, Kazuo Motoyoshi, Keiko Kamakura, Susumu Kusunoki.	内科3
神経免疫学 15(2): p.179-183, 2007.11	視神経・脊髄型多発性硬化症患者における抗アクアポリン-4抗体の意義。	小川剛, 神崎真美, 荒木学, 元吉和夫, 田中恵子, 鎌倉恵子	内科3
J Bronchol 15(1): p.52-53, 2008.01	Bulging endobronchial varices associated with bronchial artery aneurysm.	Kobayashi Hideo, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Ozeki Yuichi, Aida Shinsuke.	内科3
Respirology 13(1): p.159-161, 2008.01	Tracheo-broncho-bronchiolar lesions in Sjogren's syndrome.	Kobayashi Hideo, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Aida Shinsuke.	内科3
J Thorac Imaging 22(4): p.360-362, 2007.11	IgG4-positive pulmonary disease.	Kobayashi Hideo, Shimokawaji Tadasuke, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Aida Shinsuke.	内科3
Clinical Endocrinology 68(3): p.435-441, 2008.03	Expression of pituitary tumor-derived, N-terminally truncated isoform of fibroblast growth factor receptor 4 (ptd-FGFR4) correlates with tumor invasiveness, but not with gsp mutation in human GH-secreting pituitary adenomas.	Koji Morita, Koji Takano, Junko Yasufuku-Takano, Shozo Yamada, Akira Teramoto, Mao Takei, Robert Yoshiyuki Osamura, Toshiaki Sano, Toshiro Fujita.	内科3
Neurosurgery 61(3): p.580-585, 2007.09	A study of the correlation between morphological findings and biological activities in clinically nonfunctioning pituitary adenomas.	Shozo Yamada, Kenichi Ohyama, Manabu Taguchi, Akira Takeshita, Koji Morita, Koji Takano, Toshiaki Sano.	内科3
Journal of Immunology 179(6): p.3452-3562, 2007.09	Invariant NKT cells biased for IL-5 production act as crucial regulators of inflammation.	Kaori Sakuishi, Shinji Oki, Manabu Araki, Steven A. Porcelli, Sachiko Miyake, Takashi Yamamura.	内科3
Journal of Antimicrobial Chemotherapy 59(6): p.1096-1101, 2007.06	Clarithromycin has an immunomodulatory effect on ERK-mediated inflammation induced by <i>P. aeruginosa</i> flagellin.	Shinkai Masaharu, Lopez-Boado YS, Rubin BK.	内科3
内科 100(5):p.913-917, 2007.11	バセドウ病診療Navigatorの開発～専門医のさじ加減は再現できるか	田中祐司	内科3

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Clinical Oncology 37(4): p.287-295, 2007	Effectiveness of hepatic resection for early-stage hepatocellular carcinoma in cirrhotic patients: subgroup analysis according to Milan criteria.	Yamamoto Junji, et al.	外科1
Annals of Surgery 245(4): p.642-650, 2007	Nutritional route affects ERK phosphorylation and cytokine production in hepatic Mononuclear cells	Moriya Tomoyuki, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
日本外科感染症学会雑誌 4(2): p.197-202, 2007	SepsisにおけるCD16陽性単球の特徴-PMX-DHPの効果発現機序に着目して-	辻本広紀, 小野聰, 他	外科1
Diseases of the Colon & Rectum 50(4): p.1-9, 2007	Absence of Cyclooxygenase-2 Protein Expression is a Predictor of Tumor Regression in Rectal Cancer Treated with Preoperative Short-Term Chemoradiotherapy	Kobayashi Hirotoshi, Hashiguchi Yojiro, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Surgical Oncology 95: p.561-566, 2007	Proposal for a New Definition of True Cardia Carcinoma	Ichikura Takashi, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
日本腹部救急医学会雑誌 27(4): p.557-562, 2007	菌体構成成分によるマウス樹状細胞の成熟過程に着目したGram陽性・陰性菌感染症の生体反応に関する検討	辻本広紀, 小野聰, 望月英隆	外科1
INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY 31(1): p.81-87, 2007	Activation of a system A amino acid transporter, ATA1/SLC38A1, in human hepatocellular carcinoma and preneoplastic liver tissues	Nobuo Kondoh, Kazuo Hatsuse, et al.	外科1
The American Journal of Surgery 193: p.676-680, 2007	Interleukin-18 restores immune suppression in patients with nonseptic surgery, but not with sepsis	Hiraki Shu-ichi, Ono Satoshi, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1,3
World Journal of Surgery 31: p.1996-2001, 2007	Effects of Neutrophil Elastase Inhibitor on Progression of Acute Lung Injury Following Esophagectomy	Ono Satoshi, et al.	外科1
Journal of Gastroenterology and Hepatology 22: p.1322-1327, 2007.	Serum granulysin level as a novel prognostic marker in patients with gastric carcinoma	Saegusa Susumu, Ichikura Takashi, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
日本消化器外科学会雑誌 40(8): p.1456-1465, 2007.	外科侵襲後の免疫抑制状態-apoptosisに着目して-	辻本広紀, 小野聰, 望月英隆	外科1
Clinical Gastroenterology and Hepatology 5(9): p.1046-1052, 2007	Analysis of sentinel node involvement in gastric cancer	Morita Daisaku, Ichikura Takashi, et al.	外科1
JPEN J Parenter Enteral Nutr 31: p.416-422, 2007	Influence of adding fish oil to parenteral nutrition on gut-associated lymphoid tissue.	Maeshima Yoshinori, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Surgical Research 143(2): p.260-264, 2007.	Intraluminal Glutamine Administration During Ischemia Worsens Survival After Gut Ischemia-Reperfusion	Omata Jiro, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Surgical Oncology 97: p.445-450, 2008	Prognostic Significance of Expression of CCL5/RANTES Receptors in Patients With Gastric Cancer	Sugasawa Hidekazu, Ichikura Takashi, et al.	外科1

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pancreatology 8(2): p.142-152, 2008.02	Pancreatogram findings for carcinoma in situ (CIS) of the pancreas seen on endoscopic retrograde cholangiopancreatography and postoperative pancreatography of resected specimens: can CIS be diagnosed preoperatively?	Yamamoto Junji, et al.	外科1
World Journal of Surgery 31(12): p.2378-2383, 2007.12	Outcome after hepatic resection of solitary liver metastasis from colorectal cancer in the caudate lobe.	Yamamoto Junji, et al.	外科1
Japanese Journal of Clinical Oncology 37(11): p.836-842, 2007.11	Liver resection for metastatic gastric cancer: experience with 42 patients including eight long-term survivors.	Yamamoto Junji, et al.	外科1
Hepato-Gastroenterology 54(77): p.1345-1347, 2007.08	Locally advanced intrahepatic cholangiocarcinoma successfully resected after transcatheter arterial chemoembolization with degradable starch microspheres: report of a case.	Yamamoto Junji, et al.	外科1
Hepato-Gastroenterology 54(74): p.389-392, 2007.05	CT and MRI findings with contrast enhancement of small pancreatic adenocarcinoma in the late phase.	Yamamoto Junji, et al.	外科1
Archives of Surgery 142(3): p.269-276, 2007.05	Simplified staging system for predicting the prognosis of patients with resectable liver metastasis: development and validation.	Yamamoto Junji, et al.	外科1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncogene 26(44): p.6456-6468, 2007.09	Frequent methylation-associated silencing of a candidate tumor-suppressor, CRABP1, in esophageal squamous-cell carcinoma.	Tanaka Koji, Imoto Issei, Kozaki Ken-ichi, Tsuda Hitoshi, Shimada Yutaka, Aiko Satoshi, Yoshizumi Yutaka, Iwai Takehisa, Kawano Tatsuyuki, Inazawa Johji.	外科2
Pathology International 57(8): p.523-528, 2007.08	Esophageal pleomorphic giant cell carcinoma combined with small cell carcinoma.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Sakano Takashi, Aiko Satoshi, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu.	外科2
Endoscopy 39(5): p.428-433, 2007.05	Submucosal injection, for endoscopic mucosal resection, of photocrosslinkable chitosan hydrogel in DMEM/F12 medium.	Takamitsu Ishizuka, Takuya Hayashi, Masayuki Ishihara, Yutaka Yoshizumi, Satoshi Aiko, Shingo Nakamura, Hirofumi Yura, Yasuhiro Kanatani, Yoshiro Nogami, Tadaaki Maehara.	外科2
日本気管食道科学会会報 59(1): p.1-11, 2008.02	肉芽性気道狭窄に対する光線力学的治療	中岸義典, 守本祐司, 藤田真敬, 守本倫子, 尾関雄一, 前原正明	外科2
J Bronchol 15(1): p.52-53, 2008.01	Bulging endobronchial varices associated with bronchial artery aneurysm.	Kobayashi Hideo, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Ozeki Yuichi, Aida Shinsuke.	外科2
Chest 133(1): p.123-130, 2008.01	Photodynamic therapy for airway stenosis in rabbit models.	Nakagishi Yoshinori, Morimoto Yuji, Fujita Masanori, Morimoto N, Ozeki Yuichi, Maehara Tadaaki, Kikuchi Makoto.	外科2
Photochemistry and Photobiology 83: p.1220-1225, 2007.11	Accumulation of Photofrin in Lesions of Airway Stenosis Rabbit Models.	Yoshinori Nakagishi, Yuji Morimoto, Masanori Fujita, Yuichi Ozeki, Tadaaki Maehara, Makoto Kikuchi.	外科2
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 55(11): p.466-469, 2007.11	Neurally Mediated Syncope after Thoracic Surgery Diagnosed in the Intensive Care Unit.	Matsutani N, Takase B, Ozeki Yuichi, Ishihara M, Maehara T.	外科2
日本呼吸器外科学会雑誌 21(7): p.877-881, 2007.11	胸腔鏡を用いた心房細動の非薬物療法:胸腔鏡下mini Maze.	松谷哲行, 高瀬凡平, 尾関雄一, 前原正明, Richard Lee.	外科2
Cancer Science 98(7): p.1070-1077, 2007.07	BCL2L2 is a probable target for novel 14q11.2 amplification detected in a non-small cell lung cancer cell line.	Kawasaki Tsutomu, Yokoi Sana, Tsuda Hitoshi, Izumi Hiroshi, Kozaki Ken-ichi, Aida Shinsuke, Ozeki Yuichi, Yoshikawa Yasuyuki, Imoto Issei, Inazawa Johji.	外科2
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56(2): p.91-2, 2008.02	Delayed sudden cardiac arrest induced by aortic injury with a posterior fracture of the left rib.	Yanagawa Youichi, Kaneko Naoyuki, Hagiwara Akiyoshi, Kimura Tamizo, Isoda Susumu.	外科2
J Immunol 179(8): p.5204-5210, 2007.10	PDL1 is required for peripheral transplantation tolerance and protection from chronic allograft rejection.	Katsunori Tanaka, Albin, M. J., Yuan, X., Yamaura, K., Habicht, A., Murayama, T., Grimm, M., Waaga, A. M., Ueno, T., Padera, R. F., Yagita, H., Azuma, M., Shin, T., Blazar, B. R., Rothstein, D. M., Sayegh, M. H., Najafian, N.	外科2
J Immunol 179(2): p.786-796, 2007.07	A novel alloantigen-specific CD8+PD1+ regulatory T cell induced by ICOS-B7h blockade in vivo.	Izawa, A., Yamaura, K., Albin, M. J., Jurewicz, M., Tanaka Katsunori, Clarkson, M. R., Ueno, T., Habicht, A., Freeman, G. J., Yagita, H., Abdi, R., Pearson, T., Greiner, D. L., Sayegh, M. H., Najafian, N.	外科2



2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Orthopsychiatry 78(1): p.85-92, 2008.01	Mental health in Japanese members of the United Nations peace keeping contingent in the Golan Heights: Effects of deployment and the Middle East situation.	Sawamura Takehito, Shimizu Kunio, Kobayashi Nobuhisa, Sugawara Mariko, Tsunoda Tomoya, Kikuchi Akihito, Yamamoto Taisuke, Toda Hiroyuki, Nomura Soichiro, Takahashi Yoshitomo, Oryu Takashi, Ogasawara Tsuneyuki, Ogata Katsuhiko.	精神科
Physiology & Behavior 93(1): p.172-176, 2008.01	Social anxiety predicts unconsciously provoked emotional responses to facial expression.	Tsunoda Tomoya, Yoshino Aihide, Furusawa Teruyuki, Miyazaki Masaki, Takahashi Yoshitomo, Nomura Soichiro.	精神科
精神医学 49(10): p.1045-1052, 2007.10	日本における精神科疾病分類に関するアンケート調査—New Zealandとの比較も踏まえて	長峯正典, 勝強志, 加藤隆弘, 上原久美, 藤澤大介, 佐藤創一郎, 吉野相英, 野村総一郎, 新福尚隆	精神科
Journal of Affective Disorders (2007.09.71 E Pub): p.1-6, 2007.09	Patient satisfaction with antidepressants: an Internet-based study.	Shigemura Jun, Sato Yutaka, Yoshino Aihide, Nomura Soichiro.	精神科
Experimental Brain Research 181(3): p.519-529, 2007.08	Comparison of hemispheric asymmetry in global and local information processing and interference in divided and selective attention using spatial frequency filters.	Yoshida Takeshi, Yoshino Aihide, Takahashi Yoshitomo, Nomura Soichiro.	精神科
Physiology & Behavior 91(1): p.161-165, 2007.05	Accelerated binocular rivalry with anxious personality.	Nagamine Masanori, Yoshino Aihide, Miyazaki Masaki, Obara Minoru, Sato Shun-ichi, Takahashi Yoshitomo, Nomura Soichiro.	精神科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Infect Dis J. 2007 26:192.	Diagnosis of congenital cytomegalovirus infection using a traditionally preserved umbilical cord.	Matsumoto H, Suzuki S, Kobayashi O, Tamura K, Nonoyama S, Miyagawa H.	小児科
Am J Med Genet A. 2007 15;143:1334-7.	dup(8p)/del(8q) recombinant chromosome in a girl with hepatic focal nodular hyperplasia.	Tokutomi T, Hayashi S, Imai K, Chida A, Ishiwata T, Asano Y, Inazawa J, Nonoyama S	小児科
Haematologica. 2007 92:e123-5.	Severe developmental delay and epilepsy in a Japanese patient with severe congenital neutropenia due to HAX1 deficiency: Development delay and epilepsy in HAX1 deficiency.	Matsubara K, Imai K, Okada S, Miki M, Ishikawa N, Tsumura M, Kato T, Ohara O, Nonoyama S, Kobayashi M.	小児科
Haematologica 2007 92:1727-1228.	Successful unrelated cord blood transplantation for a patient with CD40 ligand deficiency	Tsuji Y, Imai K, Morinishi Y, Kanai T, Tamura S, Kurokawa T, Kogawa K, Morino M, Nonoyama S	小児科
J. Clin. Allergy Immunol. 2007 120:776-794	Primary immunodeficiency diseases: an update IUIS PID classification committee:	Raif. S. Geha, Luigi. D. Notarangelo, Jean-Laurent Casanova, Helen Chapel, Mary Ellen Conley, Alain Fischer, Lennart Hammarström, Nonoyama S, Hans D. Ochs, Jennifer Puck, Chaim Roifman, Reinhard Seger, and Josiah Wedgwood.	小児科
American Journal of Hematology 83(3): p.222-225, 2008.03	Soluble TWEAK is markedly elevated in hemophagocytic lymphohistiocytosis.	Nagasawa Masayuki, Yi Zhu, Imashuku Shinsaku, Nonoyama Shigeaki, Ogawa Kazuyuki, Okumura Ko, Mizutani Shuki.	小児科
International journal of Hematology 87(1): p.75-77, 2008.01	Evans syndrome in a patient with Langerhans cell histiocytosis (LCH): Possible pathogenesis of autoimmunity in LCH.	Tsuji Yoichiro, Kogawa Kazuhiro, Imai Kohsuke, Kanegane Hirokazu, Fujimoto Junichiro, Nonoyama Shigeaki.	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Bioscience and Bioengineering 104(6): p.506-509, 2007.12	Possible Role of Extracellular Signal-Regulated Kinase Pathway in Regulation of Sox9 mRNA Expression in Chondrocytes under Hydrostatic Pressure	Mio Kensuke	整形外科
Peripheral Nerve 18(2): p.256-258, 2007.12	高気圧酸素治療が末梢神経に及ぼす影響に関する実験的研究(第1報)	土原豊一	整形外科
日本手の外科学会雑誌 24(2): p.180-183, 2007.10	上腕骨骨幹部骨折、偽関節に対する創外固定法の治療経験	尼子雅敏	整形外科
整形・災害外科 50(9): p.985-989, 2007.09	選択的椎弓形成術	谷戸祥之	整形外科
肩関節 31(2): p.283-286, 2007.07	Bankart-Bristow変法術後の肩関節内外旋筋力の回復時期	尼子雅敏	整形外科
Journal of Hand Surgery 32E(3): p.296-301, 2007.06	Abductor Pollicis Longus Transfer to Restore Index Abduction in Severe Cases of Cubital Tunnel Syndrome	Nemoto Koichi	整形外科
膝 31(2): p.203-207, 2007.05	力学的減負荷により生じる関節軟骨・軟骨下骨の変化に対するTGF- $\beta$ 1全身持続投与の予防効果について	富谷真人	整形外科
Clinical Calcium 17(4): p.500-508, 2007.04	軟骨破壊とMMP	吉原愛雄	整形外科
Spine 32(25): p.E734-E740, 2007.12	Effects of Reloading After Simulated Microgravity on Proteoglycan Metabolism in the Nucleus Pulposus and Anulus Fibrosus of the Lumbar Intervertebral Disc.	Yasuoka Hiroki, Asazuma Takashi, Nakanishi Kuniaki, Yoshihara Yasuo, Sugihara Atsushi, Tomiya Masato, Okabayashi Toshitaka, Nemoto Koichi.	整形外科
日本人工関節学会誌 37: p.248-249, 2007.12	LINK Ribbed Stem の長期成績。	河野友紀, 城本雄一郎, 桑久保正利, 大橋一輝, 吉原愛雄, 根本孝一	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurol Med Chir (Tokyo) 48(3): p.125-130, 2008.03	Hemorrhagic cerebellar anaplastic glioma appearing 12 years after prophylactic cranial radiotherapy for acute lymphocytic leukemia.	Miyazawa Takahito, Aida Shinsuke, Katsuji Shima.	脳神経外科
Lasers in Surgery and Medicine 39: p.659-666, 2007.12	Effectiveness of Narrow-Band Ultraviolet-B Phototherapy for Prevention of Intimal Hyperplasia in a Rat Carotid Balloon Injury Model.	Shinya Kohyama, Yuji Morimoto, Kanji Nakai, Tatsumi Kaji, Aya Tokumaru, Hiroshi Nawashiro, Katsuji Shima, Yasushi Satoh, Kunio Takishima, Makoto Kikuchi, Hirotaka Matsuo.	脳神経外科
Neurosurgical Emergency 12(1): p.78-86, 2007.07	子瘤および重症妊娠高血圧腎症患者におけるMR画像所見についての検討	都築伸介, 加藤裕, 豊岡輝繁, 魚住洋一, 小林弘明, 大村朋子, 鈴木隆元, 宮澤隆仁, 苗代弘, 島克司	脳神経外科
神経外傷 30(1): p.7-13, 2007.12	特発性低髓液圧症候群:病態と診断・治療	島 克司	脳神経外科
Proceedings of SPIE 6628: p.66280A-1-66280A-4, 2007.11	Intrinsic optical signals of brains in rats during loss of tissue viability: effect of brain temperature.	Kawauchi Satoko, Sato Shunichi, Ooigawa Hidetoshi, Nawashiro Hiroshi, Kikuchi Makoto.	脳神経外科
Proceedings of SPIE 6434 : p.64341O-1-64341O-4, 2007.05	Changes in intrinsic optical signals during loss of tissue viability of brains in rats: effect of brain temperature.	Kawauchi Satoko, Sato Shunichi, Ooigawa Hidetoshi, Nawashiro Hiroshi, Kikuchi Makoto.	脳神経外科
脳卒中の外科 36: p.50-57, 2008.01	未破裂脳動脈瘤に対するOvernight手術を目標としたKeyhole clipping術の開発	森健太郎, 山本拓史, 中尾保秋, 長田秀夫, 大山一孝, 江崎孝徳, 渡辺瑞也, 本間圭一郎	脳神経外科
British journal of neurosurgery 21(6): p.599-602, 2007.12	Surgical management for glossopharyngeal neuralgia associated with cardiac syncope: two case reports.	akanori Esaki, Hideo Osada, Y Nakao, T Yamamoto, M Maeda, T Miyazaki, M Sumiyoshi, K Mori.	脳神経外科
Minimum Invasive Neurosurgery 50: p.195-201, 2007.11	Pterional keyhole approach to middle cerebral artery aneurysms through an outer canthal skin incision.	Kentaro Mori, Hideo Osada, Takuji Yamamoto, Yasuaki Nakao, Minoru Maeda.	脳神経外科
Neurosurgery Q 17(3): p.180-184, 2007.09	Partial (One-third) side-to-end hypoglossal-facial anastomosis ensures facial reanimation without tongue dysfunction.	Kentaro Mori, Yasuaki Nakao, Takuji Yamamoto, Yasuyuki Okuma, Hideo Osada, Takanori Esaki.	脳神経外科
Japanese journal of Neurosurgery(Tokyo) 16: p.533-540, 2007.07	脳内血腫に対する内視鏡下血腫除去術一合併症とその回避法—	山本拓史, 中尾保秋, 長田秀夫, 森健太郎, 前田稔	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 47(6): p.269-272, 2007.06	Recurrent solitary fibrous tumor of the falx cerebri with intraventricular extension- Case report-	Kohsuke Teranishi, Takuji Yamamoto, Yasuaki Nakao, Hideo Osada, Ryo Wada, Kentaro Mori.	脳神経外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Investigative Dermatology 127(6): p.1358-1366, 2007.06	Accumulation of Elafin in Actinic Elastosis of Sun-Damaged Skin: Elafin Binds to Elastin and Prevents Elastolytic Degradation(日光弾力線維症におけるエラフィンの沈着:エラフィンはエラスチンと結合しエラスチン分解を防御する)	武藤潤	皮膚科
Connect Tissue Res 48(3): p.159-169, 2007.05	Keratinocyte apoptosis on type I collagen fibrils is prevented by Erk1/2 activation under high calcium condition.	Kobayashi Takashi	皮膚科
The Journal of Dermatology 34(7): p.486-489, 2007.07	"Thermie" and friction therapy performed using a special instrument.	Iwasaki J., Aki T., Yoshida Y., Yamamoto O., Tajima Shingo.	皮膚科
Inflammation and Regeneration 28(1): p.47-52, 2008.01	Characteristic expression of connective tissue components and matrix metalloproteinases (MMPs) during the development of pressure ulcerations.	Mizuno Koji, Wachi Hiroshi, Sato Fumiaki, Onoue Satoshi, Sakamoto Yoshimitsu, Kobayashi Takashi, Seyama Yoshiyuki.	皮膚科
Chiba Med J 83(6): p.223-230, 2007.12	Detection of reduced secretion of type III collagen by Western blotting: Its usefulness in screening for vascular Ehlers-Danlos syndrome.	Mizoguchi Masako, Momota Yutaka, Kobayashi Takashi, Matsue Hiroyuki, Shinkai Hiroshi, Utani Atsushi.	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Urology 70(5): p.869-872, 2007.07	Retroperitoneoscopic partial nephrectomy using radiofrequency coagulation for small renal tumors	Tomohiko Asano, Yasunori Mizuguchi, Akio Horiguchi, Keiichi Ito, Makoto Sumitomo, Akira Miyajima, Fumihiro Kimura, Masamichi Hayakawa	泌尿器科
Scandinavian Journal of Immunology 65(2): p.126-138, 2007.02	Induction of CD16+ CD56bright NK cells with antitumour cytotoxicity not only from CD16-CD56bright NK Cells but also from CD16-	Eiji Takahashi, Noritsugu Kuranaga, Yoshiko Habu, Nariyoshi Shinomiya, Tomohiko Asano, Seki Shuhji	泌尿器科
Cancer Research 2008 Mar 15;68(6):1631-5.	Novel SN-38-incorporated polymeric micelle, NK012, strongly suppresses renal cancer progression.	Sumitomo M, Koizumi F, Asano T, Horiguchi A, Ito K, Asano T, Kakizoe T, Hayakawa M, Matsumura Y.	泌尿器科
BJU International 101: 376-381, 2008	Adeno-associated viral vector transduction of Green Fluorescent protein (GFP) in kidney: Effect of unilateral ureteral obstruction.	Keiichi Ito, Jie Chen, Jonathan J. Khodadadian, E. Darracott Vaughan Jr., Michael Lipkowitz, Dix P. Poppas and Diane Felsen	泌尿器科
Cancer Gene Ther. 2007 Jun;14(6):583-9.	Lentiviral vector neutral endopeptidase gene transfer suppresses prostate cancer tumor growth	Horiguchi A, Zheng R, Goodman OB Jr, Shen R, Guan H, Hersh LB, Nanus DM.	泌尿器科
Prostate Cancer Prostatic Dis. 2008;11(1):79-87.	Neutral endopeptidase inhibits prostate cancer tumorigenesis by reducing FGF-2-mediated angiogenesis.	Horiguchi A, Chen DY, Goodman OB Jr, Zheng R, Shen R, Guan H, Hersh LB, Nanus DM.	泌尿器科
Endocrinology. 2007 Sep;148(9):4489-99.	Attenuation of apoptosis by chromogranin A-induced Akt and survivin pathways in prostate cancer cells	Gong J, Lee J, Horiguchi A, Schlegel PN, Shen R.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 2008 Feb;38(2):106-11.	Decreased Serum Adiponectin Levels in Patients with Metastatic Renal Cell Carcinoma	Horiguchi A, Ito K, Sumitomo M, Kimura F, Asano T, Hayakawa M.	泌尿器科
Int J Oncol. 2008 Jan;32(1):171-6.	Topotecan and small interfering RNA suppress survivin expression synergistically in Caki-1 renal cancer cells: Direct suppression of survivin and enhancement of transfection efficiency by topotecan.	Sato A, Ito K, Asano T, Sumitomo M, Asano T, Hayakawa M.	泌尿器科
泌尿器科紀要 54(3): p.189-195, 2008.03	限局性前立腺癌における経尿道的前立腺切除術(TURP)併用高密度焦点式超音波(HIFU)療法—尿道カテーテル早期抜去の試み—	大槻英男, 住友誠, 梅田俊, 城武卓, 伊藤敬一, 浅野友彦, 長倉和彦, 早川正道	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌 99(4): p.584-592, 2008.02	一施設における腎癌副腎転移の臨床的検討	伊藤敬一, 水口靖規, 佐藤全伯, 黒田健司, 堀口明男, 木村文宏, 住友誠, 浅野友彦, 早川正道	泌尿器科
Acta Urologica Japonica 53(12): p.875-878, 2007.12	Laparoscopic radical nephrectomy in ACdk-associated renal cell carcinoma accompanied by duplicated IVC: a case report.	Ito Keiichi, Asano Tomohiko, Takeo Kosaka, Yoshihide Hidemitsu, Kaji Tatsumi, Sumitomo Makoto, Hayakawa Masamichi.	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Perinatal Medicine 36: p.178-181, 2008.03	Intraplacental choriocarcinoma with fetomaternal hemorrhage: a case study and literature review.	Hironori Takahashi, Hideo Matsuda, Yoshifumi Mizumoto, Kenichi Furuya.	産婦人科
日本産婦人科・新生児血液学会誌 17(2): p.33-37, 2008.02	前置胎盤・前置癌着胎盤の診断精度と予後の検討	長谷川ゆり, 松田秀雄, 川上裕一, 芝崎智子, 田中雅子, 吉田昌史, 吉永洋輔, 古谷健一	産婦人科
Archives of Gynecology and Obstetrics 2008 277(1): p.91-94, 2008.01	Sudden cardiac arrest during cesarean section to epidural anaesthesia using ropivacaine.	Masashi Yoshida, Hideo Matsuda, Isao Fukuda, Kenichi Furuya.	産婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌 26(1): p.21-27, 2008.01	卵巣明細胞癌に対する単一施設での治療経験。	高野政志, 佐々木直樹, 加藤雅史, 吉川智之, 渡邊昭夫, 喜多恒和, 工藤一弥, 菊池義公, 古谷健一	産婦人科
日本集団災害医学会誌 12(2): p.160-164, 2007.12	当院で開発した可搬式分娩装置を用いた大規模災害時の分娩介助。	早田英二郎, 水本賀文, 村上充剛, 古谷健一	産婦人科
Journal of Lower Genital Tract Disease 11(4): p.279-280, 2007.11	A case of uterine cervical carcinoma in situ with replacement of the entire corpus endometrium.	Hiidenori Sasa, Kanoko Imai, K.Kudou, T.Kita, S.Aida, Kenichi Furuya.	産婦人科
Obstet Gynecol 109(10): p.521-523, 2007.10	Fetal leukemia with umbilical artery embolism and circulatory failure.	Tomoko Shibasaki, Hideo Matsuda, Yuichi Kawakami, Kenichi Furuya.	産婦人科
International Journal of Obstetrics and Gynecology 98(3): p.267-268, 2007.10	Haptoglobin therapy during pregnancy for paroxysmal nocturnal hemoglobinuria with renal failure.	Tomoko Shibasaki, Hideo Matsuda, Kenichi Furuya.	産婦人科
Int.Urogynecol.J Pelvic,Floor Dysfunct 18(8): p.863-868, 2007.08	Histological features of the rectovaginal septum in elderly women and a proposal for posterior vaginal defect repair.	I.Nagata, G.Murakami, D.Suzuki, Kenichi Furuya, M.Koyama, A.Ohtsuka.	産婦人科
Trends in cancer research 3: p.39-45, 2007.09	Lessons from ovarian cancer patients with more than 10 years survival.	Takano Masashi, Kazuya Kudo, Kita Tsunekazu, Kenichi Furuya, Yoshihiro Kikuchi.	産婦人科
American Journal of Surgical Pathology 31(7): p.999-1006, 2007.07	Clear cell adenocarcinoma associated with clear cell adenofibromatous component: a subgroup of ovarian clear cell adenocarcinoma with distinct clinicopathological characteristics	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Tomoyuki Yoshikawa, Kazuya Kudo, Takano Masashi, Kita Tsunekazu, Furuya Kenichi, Kikuchi Yoshihiro, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu.	産婦人科
Virchows Archiv 451(1): p.27-35, 2007.07	Clinicopathological significance of WT1 expression in ovarian cancer: a possible accelerator of tumor progression in serous adenocarcinoma.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Kita Tsunekazu, Maekawa Kazunari, Fujii Kazuyuki, Kazuya Kudo, Furuya Kenichi, Tamai Seiichi, Inazawa Johji, Matsubara Osamu.	産婦人科
Modern Pathology 21(2): p.115-124, 2008.02	Expression of platelet-derived growth factors and their receptors in ovarian clear-cell carcinoma and its putative precursors.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Takano Masashi, Kita Tsunekazu, Matsubara Osamu.	産婦人科
Oncogene 27: p.9-19, 2008.01	Mechanism and functional consequences of loss of FOXO1 expression in endometrioid endometrial cancer cells.	T Goto, Masashi Takano, A Albergaria, J Briese, KM Pomeranz, B Cloke, L Fusi, F Feroze-Zaidi, N Maywald, M Sajin, RE Dina, O Ishihara, S Takeda, EW-F Lam, AM Bamberger, Ghaem-Maghami and JJ Brosens.	産婦人科
British Journal of Cancer 2008;98:1068-1075 98: p.1068-1075, 2008.01	The involvement of FOXO1 in cytotoxic stress and drug-resistance induced by paclitaxel in ovarian cancers.	T Goto, Masashi Takano, Junko Hirata, Hitoshi Tsuda.	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Molecular Endocrinology 10(21): p.2334-2349, 2007.10	Transcriptional cross talk between the forkhead transcription factor forkhead box 01A and the progesterone receptor coordinates cell cycle regulation and differentiation in human endometrial stromal cells.	Takano Masashi, Lu Z, Goto T, Fusi L, Migham J, Francis J, Withey A, Mardt J, Cloke S, Stavropoulou AV, Ishihara O, Lam EW, Untaman TG, Brosens JJ, Kim JJ.	産婦人科
Mod Pathol 20(12): p.1278-1285, 2007.09	Actinin-4 expression in ovarian cancer:a novel prognostic indicator independent of clinical stage and histological type.	Sohei Yamamoto, Hitoshi Tsuda, Kazufumi Honda, Tsunekazu Kita, Masashi Takano, Seiichi Tamai, Johji Inazawa, Tesshi Yamada, Osamu Matsubara.	産婦人科
Endocrinology 10(148): p.5020-5029, 2007.09	Role and Regulation of the Serum-and Glucocorticoid-Regulated Kinase 1 in Fertile and Infertile Human Endometrium.	Fakhra Feroze-Zaidi, Luca Fusi, Masashi Takano, Jenny Higham, Madhuri S.Salker, Tomoko Goto, Seby Edassery, Karin Klingel, Krishna Murthy Boini, Monica Palmada, Rick Kamps, Patrick G.Groothuis, Eric W.F.Lam, Stephen K.Smith, Florian Lang, Andrew M.Sharkey, Jan J.Brosens.	産婦人科
International Journal of Clinical Oncology 12(4): p.256-260, 2007.08	Progression-free survival and overall survival of patients with clear cell carcinoma of the ovary treated with paclitaxel-carboplatin or irinotecan-cisplatin:retrospective analysis.	Masashi Takano, Toru Sugiyama, Nobuo Yaegashi,, Mitsuaki Suzuki, Hiroshi Tsuda, Satoru Sagae, Yasuhiro Udagawa, Kazuo Kuzuya, Junzo Kigawa, Satoshi Takeuchi, Hitoshi Tsuda, Takuwa Moriya, Yoshihiro Kikuchi.	産婦人科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cataract Refract Surg 33	Phacoviscocanalostomy versus cataract surgery only in patients with coexisting normal-tension glaucoma: Midterm outcomes	Takuhei Shoji	眼科
防衛衛生 54(4)	陸上自衛隊員における屈折異常有病率と屈折矯正方法および屈折矯正手術に対する印象	庄司拓平	眼科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Laryngoscope	A novel drug therapy for recurrent laryngeal nerve injury using T-588	塩谷彰浩	耳鼻いんこう科
Audiol Neurootol	Sendai virus vector-mediated transgene expression in the cochlea in vivo	塩谷彰浩	耳鼻いんこう科
Auris Nasus Larynx	Laryngeal carcinoma presenting as a large anterior neck abscess	塩谷彰浩	耳鼻いんこう科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	閉鎖性喉頭外傷後に遅発性声帯麻痺をきたした1例	溝上大輔	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報	下咽頭小細胞癌の1例	富藤雅之	耳鼻いんこう科
耳鼻咽喉科臨床	難治性咽頭潰瘍で初発したHIV感染症	廣田稔治	耳鼻いんこう科
Otology Japan	実験的内耳気圧外傷に対するステロイド治療の効果	田部哲也	耳鼻いんこう科
日本気管食道科学会会報	Percutaneous Dilational Tracheostomy(PDT)による経皮的輪状甲状腺切開後の声門下狭窄	溝上大輔	耳鼻いんこう科
日本鼻科学会会報	Fibrous dysplasiaが悪性転化した篩骨洞原発low-grade central osteosarcoma(LGROS)症例	村川哲也	耳鼻いんこう科
喉頭	試作注入器を用いた声帯内BIOPEX注入術	塩谷彰浩	耳鼻いんこう科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Lasers in Surgery and Medicine 39: 659-666, 2007.12	Effectiveness of Narrow-Band Ultraviolet-B Phototherapy for Prevention of Intimal Hyperplasia in a Rat Carotid Balloon Injury Model	Shinya Kohyama, Kanji Nakai, Tatsumi Kaji , Aya Tokumaru	放射線科
Acta Urologica Japonica 53 (12):875-878,2007.12	Laparoscopic radical nephrectomy in ACDK-associated renal cell carcinoma accompanied by duplicated IVC:a case report	Ito Keiichi, Asano Tomohiko, Kaji Tatsumi, Hayakawa Masamichi	放射線科

計 2

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
麻酔56(11):1287-1295	レミフェンタニル投与の血中濃度シミュレーション	増井健一	麻酔科
シミュレーション26(3):9-15	薬物動態学的マルチコンパートメントモデルによるシミュレーションと臨床麻酔	増井健一	麻酔科
ペインクリニック28(6):769-780	三叉神経痛	坂本英治	麻酔科
日本歯科麻酔学会雑誌35(3):400-401	挿管困難が予想された経鼻挿管症例にAirway Scope®を用いた経験	坂本英治	麻酔科
Anesthesiology106(4):659-664	On-line Monitoring of End-tidal Propofol Concentration in Anesthetized Patients	田北彰	麻酔科
Anesthesiology106(3):499-506	Combined Spinal and General Anesthesia Attenuates Liver Metastasis by Preserving Th1/Th2 Cytokine Balance	和田弘樹	麻酔科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Wound Repair Regen. 2007 Jul-Aug;15(4)	Enhanced healing of mitomycin C-treated wounds in rats using inbred adipose tissue-derived stromal cells within an atelocollagen matrix.	Nambu M, Ishihara M, Nakamura S, Mizuno H, Yanagibayashi S, Kanatani Y, Hattori H, Takase B, Ishizuka T, Kishimoto S, Amano Y, Yamamoto N, Azuma R, Kiyosawa T.	形成外科

計 1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
防衛衛生 54(4): p.109-113, 2007.04	日本刀による創傷;明治9年神風党暴動時刀創図の考察	高久 邇, 佐藤泰則, 榎本 友彦 高久 韶	歯科口腔外科
防衛衛生 54(12): p.311-315, 2007.12	下顎腫瘍に伴う胸鎖乳突筋皮弁による頬部再建	徳重かおる, 佐藤泰則	歯科口腔外科
International Journal of Oncology 31(1): p.81-87, 2007.07	Activation of a system A amino acid transporter, ATA1/SLC38A1, in human hepatocellular carcinoma and preneoplastic liver tissues.	Nobuo Kondoh, Nobuo Imazeki, Masaaki Arai, Akiyuki Hada, Kazuo Hatsuse, Hirotaka Matsuo, Osamu Matsubara, Shuri Ohkura, Mikio Yamamoto.	歯科口腔外科
Oral Oncology 43(5): p.455-462, 2007.05	Gene expression signatures that can discriminate oral leukoplakia subtypes and squamous cell carcinoma.	Nobuo Kondoh, Shuri Ohkura, Masaaki Arai, Akiyuki Hada, Toshio Ishikawa, Yutaka Yamazaki, Masanobu Shindoh, Masayuki Takahashi, Yoshimasa Kitagawa, Osamu Matsubara, Mikio Yamamoto.	歯科口腔外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Emerg Med 26(2): p.253-253, 2008.2	A case of a gas embolism in the aorta induced by necrotizing gastroenteritis	Yanagawa Youichi, 岩本慎一郎, Hagiwara Akiyoshi	救急部
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56(2): p.91-2, 2008.2	Delayed sudden cardiac arrest induced by aortic injury with a posterior fracture of the left rib	Yanagawa Youichi, Kaneko Naoyuki, Hagiwara Akiyoshi, Kimura Tamizo, Isoda Susumu	救急部
Emerg Med J 25(1): p.19-22, 2008.1	Abnormal response of the extremities to pain stimulation immediately after the return of spontaneous circulation from cardiopulmonary arrest.	Yanagawa Youichi, Sakamoto Toshihisa, Okada Yoshiaki	救急部
Internal Medicine 47(1): p.21-3, 2008.01	Hyperammonemia is associated with generalized	柳川洋一, 西紘一郎, 阪本敏久	救急部
Internal Medicine 47(2): p.113-117, 2008.01	Six cases of sudden cardiac arrest in alcoholic ketoacidosis	柳川洋一, 阪本敏久, 岡田芳明	救急部
J Trauma 63(6): p.1245-8, 2007.12	Hypovolemic shock evaluated by the sonographic measurement of the inferior vena cava during resuscitation in trauma patients	柳川洋一, 阪本敏久, 岡田芳明	救急部
防衛衛生 54(11): p.292-9, 2007.12	高齢者にも拘わらず意識回復に至った病院外心肺機能停止症例	柳川洋一, 西紘一郎	救急部
Neurologia medico-chirurgica 48(1): p.37-39, 2008.1	Atrial Myxoma Occurring 15 Years After Subtotal Resection of Cerebellar Hemangioblastoma -Case Report-	柳川洋一, 島崎英幸, 島克司, 磯田晋, 前原正明	救急部
防衛衛生 54(9): p.253-7, 2007.09	喘息と異型狭心症を合併した一例	柳川洋一, 川口竹男	救急部
防衛衛生 54(8): p.203-7, 2007.08	電撃性紫斑病	柳川洋一, 岩本慎一郎, 西紘一郎, 岡田芳明	救急部
J Neurosurg 107(1): p.18-20, 2007.07	Clinical features of a temporal tip epidural hematoma	柳川洋一, 阪本敏久, 岡田芳明	救急部
Clin Toxi 45(7): p.803-7, 2007.07	Cutaneous hemorrhage or necrosis findings after Vespa mandarinia (Wasp) stings may predict the occurrence of multiple organ injury. Case report and review of literature	柳川洋一, 森田健太郎, 杉浦崇夫, 岡田芳明	救急部
Am J Emerg Med 27(7): p.757-61, 2007.07	Recovery from a psychotropic drug overdose tends to depend on the time from ingestion to arrival, the Glasgow Coma Scale and a sign of circulatory insufficiency on arrival	柳川洋一, 阪本敏久, 岡田芳明	救急部
日本救急医学 17(4): p.163-163, 2007.07	鈍的腹部外傷により生じた大動脈解離 (Stanford type B) の一例	今村友典, 柳川洋一, 木村民蔵, 前原正明, 岡田芳明	救急部
日本腹部救急医学会雑誌 27(6): p.883-9, 2007.06	鈍的外傷による門脈本幹損傷の1救命例	柳川洋一, 金子直之, 杉浦芳章	救急部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Spine J, 16(4): p.573-4, 2007.04	A case of cervical pneumorrhachis induced by the combination of pneumomediastinum and root avulsion injuries	柳川洋一, 高須朗, 杉浦崇夫, 岡田芳明	救急部
防衛衛生 54(4): p.95-100, 2007.04	当科における鋭的胸部外傷の経験	柳川洋一, 畠中公輔, 高須朗, 金子直之, 阪本敏久, 岡田芳明	救急部
救急医学 31(8): p.887-890, 2008.02	腹部大動脈遮断と肝門部遮断	金子直之	救急部
救急医学 31(6): p.660-664, 2007.06	腹部外傷	金子直之	救急部
Resuscitation 73(3): p.394-399, 2007.06	Arterial base excess after CPR: The relationship to CPR duration and the characteristics related to outcome	Takasu Akira, Toshihisa Sakamoto, Okada Yoshiaki	救急部
日臨救医会誌 11(1): p.21-25, 2008.01	ガス産生菌による緊張性気胸を併発した膿胸の一例	岩本慎一郎, 阪本敏久, 岡田芳明	救急部
防衛衛生 55(1): p.13-18, 2008.1	中心静脈カテーテルに合併したと思われる下大静脈血栓に対し回収可能型IVCフィルターを使用した1例	畠中公輔, 阪本敏久	救急部
日本救急医学会雑誌 18(6): p236, 2007.6	電撃性紫斑病に矛盾しない所見	柳川洋一	救急部
防衛衛生 55(2): p.39-43, 2008.2	下行結腸間膜血腫の一例	柳川洋一, 中山健史, 愛甲聰	救急部
The Journal of Trauma 64,E33-E36,2008.3	Suffocation caused by a foreign body in the upper intra-thoracic esophagus	Toshiyuki Nagai, Yoichi Yanagawa, Masaaki Takemoto, Toshihisa Sakamoto, Yoshiaki Okada	救急部
日本救急医学会雑誌 19(2): p119-124, 2008.2	人工呼吸器離脱後に明らかになった外傷性左横隔膜損傷の1例:冠状断および3DCTの有用性	金子直之, 柳川洋一	救急部
防衛衛生 55(3): p.59-62, 2008.3	中枢性過高熱を呈したび慢性軸索損傷の一例	柳川洋一	救急部
日本救急医学会雑誌 19(3): p168-173, 2008.3	診断の遅れから治療に難渋したLudwig's Anginaの一例	柳川洋一, 萩原章嘉, 西祐一郎	救急部

## 2 論文発表等の実績

計 1

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pathology International 57(8): p.523-528, 2007.08	Esophageal pleomorphic giant cell carcinoma combined with small cell carcinoma	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Sakano Takashi, Aiko Satoshi, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu.	検査部
American Journal of Surgical Pathology 31(7): p.999-1006, 2007.07	Clear cell adenocarcinoma associated with clear cell adenofibromatous component: a subgroup of ovarian clear cell adenocarcinoma with distinct clinicopathological characteristics.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Tomoyuki Yoshikawa, Kazuya Kudoh, Takano Masashi, Kita Tsunekazu, Furuya Kenichi, Kikuchi Yoshihiro, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu.	検査部
Virchows Archiv 451(1): p.27-35, 2007.07	Clinicopathological significance of WT1 expression in ovarian cancer: a possible accelerator of tumor progression in serous adenocarcinoma.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Kita Tsunekazu, Maekawa Kazunari, Fujii Kazuyuki, Kazuya Kudoh, Furuya Kenichi, Tamai Seiichi, Inazawa Johji, Matsubara Osamu.	検査部
Human Pathology 38(7): p.1074-1080, 2007.07	Immunohistochemical detection of hepatocyte nuclear factor-1 (HNF-1) beta in ovarian and endometrial clear cell adenocarcinomas and non-neoplastic endometrium.	Yamamoto Sohei, Tsuda Hitoshi, Aida Shinsuke, Shimazaki Hideyuki, Tamai Seiichi, Matsubara Osamu.	検査部
埼臨技会誌 54(1): p.6-12, 2007.07	当院におけるHelicobacter pyloriの検出状況と薬剤感受性について	大森尚子, 長沢光章, 結城篤, 直井健治, 林克次, 玉井誠一, 永尾重昭	検査部
Neurol Med Chir (Tokyo) 48(3): p.125-130, 2008.03	Hemorrhagic cerebellar anaplastic glioma appearing 12 years after prophylactic cranial radiotherapy for acute lymphocytic leukemia.	Miyazawa Takahito, Aida Shinsuke, Katsuji Shima.	検査部
International Journal of Hematology 87(1): p.83-87, 2008.02	Histiocytic sarcoma of the spleen: case report of asymptomatic onset of thrombocytopenia and complex imaging features.	Kobayashi Shinichi, Kimura Fumihiko, Hama Yukihiko, Ogura Kazuto, Torikai Hiroki, Kobayashi Ayako, Ikeda Takashi, Sato Ken, Aida Shinsuke, Kosuda Shigeru, Motoyoshi Kazuo.	検査部
J Bronchol 15(1): p.52-53, 2008.01	Bulging endobronchial varices associated with bronchial artery aneurysm.	Kobayashi Hideo, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Ozeki Yuichi, Aida Shinsuke.	検査部
Am J Clin Pathol 130(1): p.43-49, 2008.01	Expression of occludin and claudins 1, 3, 4, and 7 in urothelial carcinoma of the upper urinary tract.	Nakanishi Kuniaki, Ogata Sho, Hiroi Sadayuki, Tominaga Susumu, Aida Shinsuke, Kawai Toshiaki.	検査部
Respirology 13(1): p.159-161, 2008.01	Tracheo-broncho-bronchiolar lesions in Sjogren's syndrome.	Kobayashi Hideo, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Aida Shinsuke.	検査部
J Thorac Imaging 22(4): p.360-362, 2007.11	IgG4-positive pulmonary disease	Kobayashi Hideo, Shimokawaji Tadasuke, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Aida Shinsuke.	検査部
Clinical Gastroenterology and Hepatology 5(9): p.1046-1052, 2007.09	Analysis of sentinel node involvement in gastric cancer.	Morita Daisaku, Tsuda Hitoshi, Ichikura Takashi, Kimura Mikihiko, Aida Shinsuke, Kosuda Shigeru, Inazawa Johji, Mochizuki Hidetaka, Matsubara Osamu.	検査部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Virchows Arch 451(3): p.681-690, 2007.09	Expression of LAT1 predicts risk of progression of transitional cell carcinoma of the upper urinary tract.	Kuniaki Nakanishi, Sho Ogata, Hirotaka Matsuo, Yoshikatsu Kanai, Hitoshi Endou, Sadayuki Hiroi, Susumu Tominaga, Shinsuke Aida, Hiroyasu Kasamatsu, Toshiaki Kawai.	検査部
Cancer Science 98(7): p.1070-1077, 2007.07	BCL2L2 is a probable target for novel 14q11.2 amplification detected in a non-small cell lung cancer cell line.	Kawasaki Tsutomu, Yokoi Sana, Tsuda Hitoshi, Izumi Hiroshi, Kozaki Ken-ichi, Aida Shinsuke, Ozeki Yuichi, Yoshikawa Yasuyuki, Imoto Issei, Inazawa Johji.	検査部

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 望月 英隆	
管理担当者氏名	庶務課長 戸祭 哲夫	医事課長 千坂 久夫 薬剤部長 菅野 秀明

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	庶務課 医療情報部 薬剤部 手術部 看護部		カルテ等の病歴資料は医療情報部で一括管理をしている。外来カルテは診療科ごと、入院カルテは入院期間ごとに作成され、電算機に登録管理されており、保存期間は10年である。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	教務課	
	閲覧実績	庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	文書管理規則等に基づき、各担当課において、作成部署・文書分類番号・保存期間等を記入し管理している。
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部	
の規 状則 況第 9 条 の 2 及 び 第 3 條 の 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	庶務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	庶務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	庶務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	庶務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	庶務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全推進室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録  規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室	文書管理規則等に基づき、各担当課において、作成部署・文書分類番号・保存期間等を記入し管理している。
	院内感染のための委員会の開催状況	庶務課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染対策室	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	材料部	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	材料部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	材料部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	材料部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 望月 英隆
閲覧担当者氏名	各診療科部長 庶務課長 医事課長 薬剤部長 教務課長
閲覧の求めに応じる場所	病院第3会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	65.3%	算定期間	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日
算	A : 紹介患者の数		11,449 人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,657 人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,565 人
拠	D : 初診の患者の数		26,012 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A, B, Cの数の和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A, B, C, Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

### 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員：専任(3)名 兼任(10)名</li><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) インシデント・アクシデント報告書の収集、分析、集計等を行い、内容の確認及び再発防止に関する検討</li><li>(2) 職員の医療安全に関する研修の企画立案及び実施</li><li>(3) 安全管理マニュアルの作成及び修正</li></ul></li></ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容： 医療事故防止対策及び医療事故発生時等の対応方法についてのシステム構築、職員の心構え、事故報告及び安全管理のための組織体制、教育、患者対応等の基準について定めている。</li></ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 病院内における安全管理のための指針の整備等、医療事故を防止するために必要な方策及び医療事故が発生した場合における対応要領に関すること。</li><li>(2) 病院内における安全管理のための医療事故、インシデント等の報告制度の整備等に関すること。</li><li>(3) 安全管理の体制確保のために必要な職員の教育、研修制度の整備及び実施要領に関すること。</li></ul></li></ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年10回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医療安全とTOYOTA生産方式</li><li>(2) 感染対策</li><li>(3) 医療安全シンポジウム</li><li>(4) インフォームドコンセント</li></ul></li></ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 )</li><li>・ その他の改善の方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 患者参加型医療安全システムの実施</li><li>(2) 研修医の医療安全に対する教育の強化</li><li>(3) 効果的な安全管理体制構築のための組織の改編</li></ul></li></ul>	

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容: 院内感染防止体制を確保し、院内感染の未然防止及び発生時の迅速かつ適切な対処により医療の 安全性を図るための組織、活動、対策マニュアルの整備、発生時の対応、報告等についての基準を 定めている。	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容: (1) 院内感染対策、対処の方針等に関すること (2) 院内感染管理体制の整備に関すること (3) 集団発生する恐れのある感染症の対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
・ 研修の主な内容: (1) 院内感染と予防接種 (2) 耐性菌感染症の傾向と対策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 ) ・ その他の改善の方策の主な内容: ポケット版の感染対策マニュアルを作成し職員全員に配布、感染対策の指針等の周知徹底を図った。	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容:           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内処方せんの変更の行い方</li> <li>(2) インスリン治療講習会(スライディングスケール他)</li> <li>(3) 抗がん剤のオーダリング・医療事故のポイント</li> <li>(4) 麻薬施用者講習会</li> <li>(5) 院内安全管理対策(持参薬)</li> <li>(6) 薬剤部業務と医薬品安全使用</li> <li>(7) 医療用麻薬製剤の取扱い</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有)・無 )</li> <li>・ 業務の主な内容:           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医薬品の採用</li> <li>(2) 医薬品管理</li> <li>(3) 調剤／持参薬管理</li> <li>(4) 薬剤管理指導業務</li> <li>(5) 医薬品情報</li> <li>(6) 地域薬剤師会との連携</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無 )</li> <li>・ その他の改善の方策の主な内容:           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 採用品目すべての添付情報を薬剤部医薬品情報室で保管・管理し、製薬会社が添付文書を改訂した場合は、各会社に提出させている。</li> <li>(2) 収集した情報のうち必要なものについて、毎月「DIニュース」を発行し、各診療科、病棟、その他の部門に配布している。</li> </ul> </li> </ul>	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 25回
・ 研修の主な内容: (1) 初任医師、看護師に対する各機器操作と安全管理 (2) 使用者に対する機器操作と安全管理 (3) 機器導入時の操作法と安全管理 (4) 病院職員対象機器説明会 (5) 使用現場巡回安全管理指導	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有)・無 ) ・ 保守点検の主な内容: 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置をはじめとする機器について、日常点検、定期点検を院内各部で分担又は部外委託で実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無 ) ・ その他の改善の方策の主な内容: 病院ホームページから閲覧できる形の安全管理ガイドラインを作成し方針を示しているほか、リンク形式で添付文、マニュアル、研修内容、点検計画等の閲覧ができるようにしている。 また、院内メールを用いて隨時安全情報を発信している。	